

2021年度 日本工学院専門学校											
コンサートイベント科 1年次											
コンサートプロダクト1 (制作)											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	270	単位	9
担当教員	森永 直樹			実務 経験	有	職種	マネジメント全般				
授業概要											
<p>コンサート・イベントの企画立案から制作、宣伝、当日の運営まで行うことで、コンサート制作を相対的に理解する。コンサートもイベントも多種多様に幅が広がってきている現状を受け、既存の常識だけでなく常に新しい情報を取り入れ、臨機応変に対応できる調整力、企画力を獲得し、これからのコンサート、イベントを作っていく人材を育成する。そして、コンサート、イベント制作を通して就職へ繋がる人間力を向上、強化を目的とする。</p>											
到達目標											
<p>100～2000人収容のコンサートやイベントの制作、運営、知識と経験を身に着ける。「人」「物」「お金」「時間」を管理する為に必要な「行動力」を念頭に置きながら、趣味嗜好では無く「プロ」としての意識を得る事が目標。これはエンターテインメント業界だけでなく、他業種でも必要な力になるので、目の前の就職だけでなく、自分の人生に対して必要な事を理解できるようにする。</p>											
授業方法											
<p>団体で行う事、個人で行う事の双方を取り入れ、知識として学べることと実践で学べることを意味を理解させ、授業に向かう体制を整える。学内で学べる事、外部（インターンシップ）で学べる事を理解することで、効率良く、かつ実のある知識、経験を積みあげる。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 40% 試験と課題を総合的に評価する レポート 15% 授業内容の理解度を確認するために実施する 成果発表 15% 授業内容の理解度を確認するために実施する 平常点 30% 漸進的な授業参加度、授業態度によって評価する</p>											
履修上の注意											
<p>その場しのぎでコンサートやイベントが進まないように、計画、実践、反省を繰り返し、実践の数を増やす度に質をあげていく。外部（インターンシップ）ばかりにならないように、実習の必要性を1年次の内に理解させる。チームや担当セクションが、同じ学生偏らないようにバランスを取り、すべての学生にチャンスときっかけを与える。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
イベントごとに必要な資料を準備する（アーティストの資料や会場の使用など）											
回数	授業計画										
第1回	基礎実習【制作コース】1 制作とは？・音楽業界の仕事、関連図を理解										
第2回	基礎実習【制作コース】2 企画立案・制作・宣伝を理解										
第3回	基礎実習【制作コース】3 シーパー、ブラ柵、PCの活用など実働で使用する機材などを理解										
第4回	基礎実習【制作コース】まとめ デザインの必要性と実践。映像の現状とイベント全般の演出について理解										
第5回	宣伝について基礎知識の理解 宣伝に必要なフライヤー、ポスター、ロゴなどの大義のあるデザインの考え方。その展開方法の習得										
第6回	マニュアル作成1 最低限必要なタイムテーブル、配置図、アンサーシート等の作成										

2021年度 日本工学院専門学校	
コンサートイベント科 1年次	
コンサートプロダクト1 (制作)	
第7回	マニュアル作成2 1000キャパ以上の大箱でのイベントに必要なマニュアルを作成できるPCスキルとディレクション習得
第8回	楽器の基礎知識 マネジメントなどアーティストに近いスタッフとして最低限知っておくべき楽器の知識を習得
第9回	音源、資料の管理、基礎知識 レコード会社、マネジメントからデスクに至るまで必要な知識の習得。音源のデータ化、扱い方、出力方法、フォーマット等
第10回	Officeの活用 ワード、エクセルのPDF化、関数、パワーポイント等、プレゼンに必要な知識と技術の習得
第11回	宣伝プランの企画、立案 コンサートに必要な宣伝、協賛などの獲得方法と意図の理解
第12回	リライブ等の制作、運営 握手会やトークショーなどアーティストに関する派生イベントの制作、運営を実施
第13回	修了ライブ1 A-STAGE(400)でワンマン、対パンのイベントの実施
第14回	修了ライブ2 片柳アリーナ(1000設定)で対パンイベントの実施
第15回	総括 振り返り次のイベントへの改善点を報告書にまとめて、対策も共有し、次のイベントへ活かす

2021年度 日本工学院専門学校																							
コンサートイベント科 1年次																							
コンサートプロダクト1 (PA)																							
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	270	単位	9												
担当教員	中里 哲也・鈴木 裕大			実務 経験	有	職種	PAエンジニア																
授業概要																							
<p>コンサートやイベント現場におけるPAスタッフを目指す。コンサートPAスタッフとしての基本的な知識の理解をはじめ、イベントPAを中心に仕込み作業の体験をし、ミキシングテクニックの基本を学ぶ。この科目を受講する学生は、コンサート・イベント業界の中が協働の場である事を理解し、初めて係る舞台業界で求められる技術、知識の基礎を理解できるようになる。また、どのような人材を求められているか、その為にはどのような知識が必要で、どのような人間であれば良いかを理解できるようになる。</p>																							
到達目標																							
<p>この科目では、仮設音響機材の取り扱い、段取りを含めた適切なセッティング、一つ一つの音源を大切に收音する心とマイキング、出演者の気持ちを汲み取り、そのイメージを崩さずにお客様に届ける感性とスキルをバランスよく習得する。また、舞台スタッフとして自分の役割と立ち位置を理解し、自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること。今後社会に出て活動するために必要な能力を具体的にイメージし、ゆくゆく社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。</p>																							
授業方法																							
<p>コンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、基本的な機材の仕込み作業（ケーブル巻き、機材の設置、配線、音量操作など）を片柳アリーナ（記念ホール）・A-Stage・BOXステージ、PA実習室などで行う。また、仕込み図や回線表を元にセッティングを行い、その作業を反復練習することにより理解度とスピードを上げていく。それに必要な知識、技術をゼミ形式で併用して身につけ、グレード試験にて自己確認する。</p>																							
成績評価方法																							
<table border="0"> <tr> <td>試験・課題</td> <td>40%</td> <td>試験と課題を総合的に評価する</td> </tr> <tr> <td>レポート</td> <td>15%</td> <td>授業内容の理解度を確認するために実施する</td> </tr> <tr> <td>成果発表</td> <td>15%</td> <td>授業内容の理解度を確認するために実施する</td> </tr> <tr> <td>平常点</td> <td>30%</td> <td>漸進的な授業参加度、授業態度によって評価する</td> </tr> </table>												試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する	レポート	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する	成果発表	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する	平常点	30%	漸進的な授業参加度、授業態度によって評価する
試験・課題	40%	試験と課題を総合的に評価する																					
レポート	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する																					
成果発表	15%	授業内容の理解度を確認するために実施する																					
平常点	30%	漸進的な授業参加度、授業態度によって評価する																					
履修上の注意																							
<p>遅刻は厳禁。授業開始の10前に実習室にて、服装・メモ等の準備をします。「おはようございます」等挨拶が非常に重要です。自分から声を掛けられるようにしましょう。実習科目なので重量物・突起物のある機材の扱いを実施します。怪我をしない、させない様に服装などに注意が必要。機材破損の無いように十分注意をし、より良い学習環境を作るために最低限のルールを守ること。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>																							
教科書教材																							
回によりレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する																							
回数	授業計画																						
第1回	基礎実習ローテーションPA実習① PAの仕事の概略・心構え・サウンドチェックのデモンストレーション・ケーブル巻き																						
第2回	基礎実習ローテーションPA実習② 簡易PAの配線・電源投入・代表的なマイクロフォンの紹介・ケーブル巻き																						
第3回	基礎実習ローテーションPA実習③ CD・マイク音だし方法を実際のコンソールにて手順を習得																						
第4回	基礎実習ローテーションPA実習④ フェーダー操作(音量変化)による演出法と実際のおペレートを体験																						
第5回	基本的なPA機材の理解① インプットモジュールの各機能・使い方・インサート機能の理解																						
第6回	基本的なPA機材の理解② 小型ミキシングコンソールのステレオアウトの役割・概要の理解																						

2021年度 日本工学院専門学校	
コンサートイベント科 1年次	
コンサートプロダクト1 (PA)	
第7回	基本的なPA機材の理解③ 小型ミキシングコンソールのグループマスターモジュールの役割・概要の理解
第8回	基本的なPA機材の理解④ 小型ミキシングコンソールのAUX回路・MTR回路の役割・概要の理解
第9回	マイクロフォンセッティング 現場で良く使われるマイクロフォンを中心に、楽器へのアテンドを理解
第10回	PAセッティング基礎 実習 PAシステム全体のセッティングを実施。イベントPAシステムの最終形を確認
第11回	基本的なPA機材の理解⑤ PAスピーカー研究
第12回	基本的なPA機材の理解⑥ ミキシングコンソール 音量、音質の設定の理解
第13回	基本的なPA機材の理解⑦ フェーダー操作、ミキシングバランスの理解
第14回	グレード試験 ケーブル巻・マイクスタンドの設置
第15回	コンサートPAセッティング実習 前期まとめ実習 PAシステム全体のセッティングを実施

2021年度 日本工学院専門学校											
コンサートイベント科											
コンサートプロダクト1 (照明)											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	240	単位	8
担当教員	鈴木 裕大			実務 経験	有	職種	照明エンジニア				
授業概要											
実習を通して照明スタッフとしての基盤を形成する。実習、座学、オンライン講義のバランスを考え授業展開し、学生の知識と技術の向上を図る。受動的な講義と能動的な講義を組み合わせることで、学生自身が主体的に物事を考え、行動や発言ができるようになることを目指す。											
到達目標											
①舞台照明の基礎知識を学び、照明スタッフとして専門用語を用いて他セクションと打ち合わせ等の会話ができるようになる。 ②舞台照明の基礎技術を身につけ、基本的な仕込みやライティングデザイン、本番オペレートを行う。 ③人間力を伸ばし、業界スタッフ(社会人)としての姿勢や心得を理解する。											
授業方法											
対面座学：照明の基礎知識、安全衛生法、PCスキルなどを学ぶ 実践授業：機材の設営撤去、搬入搬出、明かりの調整、本番オペレートなど講師の直接指導の下で学ぶ オンライン講義：ライティングデザイン、図面作成、PCスキルを学ぶ。実践授業、座学の復習にも活用。											
成績評価方法											
授業出席率	50%	遅刻、早退、欠席を含む出席率で評価。(公欠は例外とする)									
提出課題	20%	定期的な課題の提出率、提出内容で評価。									
グレード試験	20%	試験の可否、									
授業成果	10%	授業への取り組み姿勢を評価									
履修上の注意											
安全第一で授業は行う。重量物や昇降物がある為、声を出すことが非常に大切になる。照明スタッフは高所に上がることもあり。 理由のない遅刻や欠席は認めない。挨拶をしっかりと行うことが大切。 グレード試験や小テストを行い理解度を確認する。 携帯電話は使用禁止。教室内は機材がある為、飲食は禁止とする。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
舞台・テレビジョン照明：テキストを基に資料を作成。授業内で学生へ配布 ステージ・PA・照明用語辞典：毎回の授業で活用											
回数	授業計画										
第1回	基礎実習【照明コース】1(照明の仕事のについて) 照明の仕事内容を理解することで、これから学んでいくことの必要性を把握する										
第2回	基礎実習【照明コース】2(様々な一般照明の機材について) 一般照明の各機材の名称と特性、使用するにあたっての留意点を理解する。										
第3回	基礎実習【照明コース】3(PARライトの仕込み・バラしを行う) 取り扱い方と手順を理解し、正確な機材の仕込み方を習得する。										
第4回	基礎実習【照明コース】まとめ(グレード試験) 間違えた所は復習し、身につけた上で次のステップに進む										
第5回	安全衛生法の座学 通常作業、高所作業に取り組む際の注意点やルール、法律の講義を行い、理解する。										
第6回	照明機材の仕込み実習 各種機材の取り扱い方と仕込み方を習得する。										

2021年度 日本工学院専門学校	
コンサートイベント科	
コンサートプロダクト1 (照明)	
第7回	ピンスポットの取り扱い ピンスポットの操作方法、設営の方法、機材内部の仕組みについて理解する。
第8回	電気・電源の基礎 電気計算や配電方式、伝送方法などについて理解する。
第9回	光の性質についての座学 減法混色と加法混色の解説、色と光の関係性、明度、輝度、照度について学ぶ。
第10回	譜割り・曲の分析についての座学 小節の数え方、照明きっかけの解説。
第11回	PCスキル 照明卓 (OnPC) の使用方法を学ぶ。Excel、Word等を用いた照明資料の作成方法を学ぶ。
第12回	ライティングデザイン実習 明かりのデザインの基礎をLEDライト・一般照明機材を使用し、習得する。
第13回	照明オペレート実習 照明卓の設営からプログラミング、本番オペレートを実機とPCを用いて学ぶ。
第14回	ネットワークと信号 ネットワークセッティングの方法と信号理論を理解する。
第15回	仕込み図面の作成 ベクターワークスの使用方法を学び、基本的な照明図面を作成を習得する。

2021年度 日本工学院専門学校											
コンサートイベント科 1年次											
コンサートプロダクト1 (舞台)											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	270	単位	9
担当教員	嶋田 円歌			実務 経験	有	職種	コンサート制作・アーティストマネージャー				
授業概要											
<p>コンサートやイベントなどの舞台監督及び大道具スタッフを目指す。舞台監督としては基本的な知識の理解を深め、全セクションのリレーションを良好に保つための方法論を学びその実践を行う。大道具スタッフとしては基本的な知識の理解及び必要な部材の理解や工具の使用法を習得する。この科目を受講する学生は、コンサート・イベント業界の中が協働の場である事を理解し、初めて係る舞台業界で求められる技術、知識の基礎を理解できるようになる。また、どのような人材を求められているか、その為にはどのような知識が必要で、どのような人間であれば良いかを理解できるようになる。</p>											
到達目標											
<p>この科目ではコンサートやイベントなどに於ける舞台監督及び大道具スタッフとしての基本的な知識や技術を習得を目指し、実際の現場で活躍する企業のスタッフやプロのアーティストの協力の元実践的なコンサート制作を通してコンサートスタッフへの理解を深めることを目標としている。そのうえで、「現場で求められる人材」「実社会で活躍できる人材」とは何かを学生自らが考え、社会に出てから必要となるスキルを身に付けるために自ら動く大切さを理解できるようになることもまた目標としている。</p>											
授業方法											
<p>実際にセットやそれに必要な部材を使って作成します。またその作業を反復練習することにより、理解度とスピードを上げていきますまたそれに必要な知識、技術をゼミも併用して身に付け、グレードにて自己確認します。仕込、リハーサル、本番に向けて、それぞれの更新、変更事項に対する資料の修正、改善などをしていくのは、ほぼ必須となります。またデザインアイデアなどは、様々なライブなどからヒントを得るために自主学習します。</p>											
成績評価方法											
<p>授業出席率 50% 遅刻、早退、欠席を含む出席率で評価。(公欠は例外とする) 提出課題 20% 定期的な課題の提出率、提出内容で評価。 グレード試験 20% 試験の可否、 授業成果 10% 授業への取り組み姿勢を評価</p>											
履修上の注意											
<p>遅刻厳禁。実際の現場に於いて限られた時間の中でのタイムテーブル通りの進行は必須ですので、今の内から意識付けをしてください。重量物や長尺物などを扱いますので、安全面には十分気を付けてください。相応しい服装での授業参加を心がけてください。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に理解出来るように心掛けて下さい。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
必要に応じてレジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	基礎実習①-1 舞台監督の仕事とコンサートの仕組みについて知る										
第2回	基礎実習①-2 舞台美術の仕事と必要な道具について知る										
第3回	基礎実習②-1 舞台監督が作成する資料(図面・進行表・タイムテーブルなど)について知る										
第4回	基礎実習②-2 基本のロープワーク・幕の扱い方・山台の組み方										
第5回	基礎実習③-1 図面の読みかた・パミリの方法を体験する										
第6回	基礎実習③-2 パンチの敷き方と扱い方・簡単なセットの仕込を体験する										

2021年度 日本工学院専門学校	
コンサートイベント科 1年次	
コンサートプロダクト1 (舞台)	
第7回	基本的な舞台設備① ホールの機構、構造編
第8回	基本的な舞台設備② 平台、箱馬の様々な利用の仕方と実践
第9回	作品研究① 実際に行われ映像化されているライブをその資料とともに検証、解説
第10回	資格取得① 「足場の組立て等特別教育」の修了資格を取得
第11回	資格取得② 「フルハーネス型墜落制止用器具取扱特別教育」の修了資格を取得
第12回	基本的な舞台設備③ トラス・ライザー・バンド台など仮設金属部材の扱いと組み立てを理解する
第13回	基本的な舞台設備④ イントレの組み方を理解し、実際に組み立てを行う
第14回	VECTORWORKS基本操作① VECTORWORKS (図面作成ソフト) の基本操作を理解する
第15回	VECTORWORKS基本操作② VECTORWORKS (図面作成ソフト) を用いてプロット図を作成する

2021年度 日本工学院専門学校											
コンサートイベント科 1年次											
コンサートプロダクト1 (企画)											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	270	単位	9
担当教員	佐藤 礼央			実務 経験	有	職種	イベントプランナー・制作				
授業概要											
<p>溢れる程の情報が回っている現代社会において、学生の『気づく力』や『洞察力』が不足している傾向がみられる。いつでも欲しい情報を入手する事が出来るようになった反面、周りの変化に気づき、その本質を洞察する事ができない環境となっている事が原因と考察する。この状況を踏まえ本授業では、イベント業界において必要な基礎知識を学び、イベントスタッフとしての役割を理解することを主たる目的としながら、礼儀や挨拶、メールの書き方といった、社会人基礎力及び『気づく力』『洞察力』を身につける事を狙いとする。</p>											
到達目標											
<p>この科目では、大型商業施設でのイベントや、企業・地域と連携したイベント(産学連携プロジェクト)など、実践的なイベント制作を通して『社会とは何か』『社会が求める人材はどんな人材なのか』を考え、学生自らが日々探求し続ける事の重要性を理解する事が狙いである。またイベントスタッフとして、様々な状況にも対応できる知識を修得する為に、イベント検定の資格取得を目指し、多種多様に幅が広がっているイベント業界でも対応していけるスタッフとなる事が目標である。</p>											
授業方法											
<p>この授業では、個人ワークやグループワーク並びにフィールドワークを採り入れる。与えられるだけでは無く自らが考え行動する姿勢を、常に意識させながら授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の「気づき」や「洞察力」を育成していく。</p>											
成績評価方法											
授業出席率	50%	遅刻、早退、欠席を含む出席率で評価。(公欠は例外とする)									
提出課題	20%	定期的な課題の提出率、提出内容で評価。									
グレード試験	20%	試験の可否、									
授業成果	10%	授業への取り組み姿勢を評価									
履修上の注意											
<p>スタッフ育成の学科として理由のない遅刻や欠席は認めない。ただ授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することが求められ、教員講師の発言等こまめにメモを取る事を心掛けてもらう。また主体的に情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。尚、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することが出来ない。</p>											
教科書教材											
イベント毎に必要な資料を準備する											
回数	授業計画										
第1回	基礎実習① イベントを行う目的を理解する										
第2回	基礎実習② イベント構成要素を6W2Hを理解する										
第3回	基礎実習③ プレゼンテーションの仕方を身につける										
第4回	4つの管理について 時間、物、人、お金の管理の大切さを知る										
第5回	企画書の作り方① 消費者の心のスイッチを押す仕組みを知る										
第6回	企画書の作り方② アイデアにリミットを作らない方法を知る										

2021年度 日本工学院専門学校	
コンサートイベント科 1年次	
コンサートプロダクト1 (企画)	
第7回	人を惹きつけるプレゼンとは① 人前でプレゼンする事に慣れる技法を理解する
第8回	人を惹きつけるプレゼンとは② 人前でプレゼンする事に慣れる技法を理解する
第9回	演出方法とその手法① イベント現場の運営を理解する
第10回	演出方法とその手法② イベント現場の進行を理解する
第11回	演出方法とその手法③ イベント実施におけるプロモーション方を理解する
第12回	マーケティング① 需要と供給について理解する
第13回	マーケティング② 課題発見力について知る
第14回	マーケティング③ 課題発見力について知る
第15回	まとめ 全体のまとめ